

農業委員会だより



# むらかみ

No.8

平成27年11月



写真は、村上市立小川小学校のイモ掘りの様子です。地域の農家の協力を得ながら、春に植えたイモは大きく育ち、収穫を迎えました。収穫したイモはお土産として持ち帰ったり、その場で焼きイモにしておいしくいただきました。

- 発行 新潟県村上市三之町1番1号  
村上市農業委員会  
広報委員会
- TEL 0254-53-2111
- FAX 0254-53-3840
- ホームページアドレス  
<http://www.city.murakami.lg.jp>
- メールアドレス  
[noi@city.murakami.lg.jp](mailto:noi@city.murakami.lg.jp)

# 元気を岩船地域づくりを考える集い

## 農政懇談会

岩船郡村上市の各農業委員会と岩船農業振興協議会、村上地域振興局農林振興部が主催し、岩船地域生産組織協議会の共催により開催されるものです。

前回は1月28日に村上市情報センターを会場に開催され、約150人の参加をいただきました。

ここでは、優良経営体の表彰や岩船米品質食味コンテストの表彰のほか、新潟大学農学部助教の伊藤亮司様による「米価下落における岩船米の産地活性化を考える」と題した基調講演が行われました。

その後、平成27年産米の栽培ポイントの説明や農業政策の情報提供などがあり、参加した認定農業者をはじめ、各団体職員



や青年農業士の皆さんと岩船地域の農業の今後について活発な意見交換がなされました。

今回も有意義な農政懇談会となるよう、関係者はもとより特に若い農業者の皆様方のご参加をお待ちしております。

# 視察研修

## 「めざせ・コストダウン」



農業委員

鈴木 いせ子

(中原)

規模の小さな村上市では過剰な機械コストの削減が大きな課題になっています。

茨城県龍ヶ崎市(匈)横田農場は125haの大規模水稲経営ながら、極早生から晩生までの7品種を作

付けし、作業時間を分散。田植機とコンバインは実質各1台でコストダウンをしている。

経営面積は17年間で6倍になったが機械の台数に大きな変化はない。機械の故障などもあるが、修理は部品を取り寄せて、自分達でやる(クボタの会社が近くにある)レーザーレベラーを導入し畦を撤去し、圃場の大区画を進めている。

農業を伝えるため、子供達への「たんぼの学校」も忘れてはいない。



茨城県龍ヶ崎市(匈)横田農場視察

## 村上市への建議

### 1 国・県に対する事項

① 農業委員会制度・組織改革について  
規制改革により、委員活動に支障をきたすことのないよう、関係機関に対して要請してほしい。

### ② TPP交渉について

国益を守れない交渉には断固反対であることを関係機関に対し要請してほしい。

### ③ 米政策と経営所得安定対策について

農業・農村現場に目線を向けた対策となるよう関係機関に強く要請してほしい。

### ④ 燃油等の資材費の高騰について

免税軽油制度の法制化を図り、農林水産業者の経営への影響に対し、万全な対策を要請してほしい。

### ⑤ 遊休農地対策について

遊休農地への課税強化は、遊休農地の解消につながるものではない。生産現場の声を反映させ農業再生に資する政策を行ってほしい。

### 2 村上市に対する事項

### ① 農業委員会の体制の確保について

改正農業委員会法の実施にあたっては、委員会活動に支障が生じないよう、委員の定数の十分な確保をしてほしい。

### ② 地産地消の取り組みについて

特産品の開発と地域ブランド品の発掘等、またふるさと納税の返礼品



電気柵設置

に対する支援、併せて狩猟者確保対策と財政支援をお願いしたい。

### ④ 担い手対策について

新たな担い手の育成・支援及び中心となる経営体の経営力向上・発展への支援をお願いしたい。

### ⑤ 燃油等資材費の高騰について

資材費・飼料代に対し市独自の支援をお願いしたい。

### ⑥ 農家の経営安定対策について

農業関係予算を確保し、所得の増大が実感できるような支援をお願いしたい。

### ⑦ 農業委員会予算の拡充について

農業委員会が果たす役割を市民に周知するため、「農業委員会だより」を全戸配布できるように予算措置をお願いしたい。



## 農地パトロール

農業委員会では、農地パトロールを実施し、遊休農地の実態把握と発生防止及び解消、農地の違反転用発生防止対策等について取り組んでいます。

今年市内各5地区において7月14日～23日に実施しており、地区の農業委員全員の目視により調査を行いました。

今後とも優良農地を守るため、農業委員一丸となって取り組んでまいります。



## 作況調査

9月10日に市内各地のほ場において作況調査を行いました。今年台風15号の影響で、減収の予想されるほ場もありました。



## 農業委員の変更

農業委員（土地改良区推薦）が9月29日付けで交代がありました。

### 新任



渡辺 誠市長  
(農地調整)

### 退任

加藤 芳明

# あらかわ直売所



「あらかわ直売所利用組合」は、平成21年に数名の有志の思いからスタートしました。7年目を迎えた現在は30名の組合員から構成されています。

取扱商品は直売所内で加工したこんにゃくや漬け物、生鮮野菜と手芸作品、A-COOPの商品等です。直売所だからこそ暖かな接客を心がけ、看板娘(息子)達は商品よりも輝いているかもしれません。

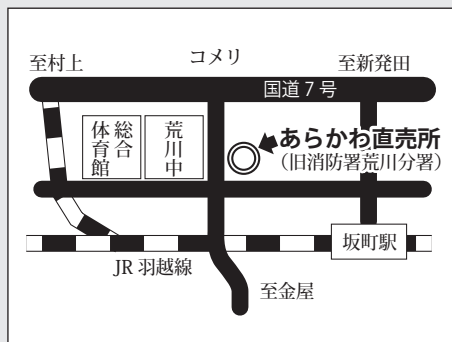
営業日は日曜日と木曜日、午前8時から午後1時までです。

地域の皆様から沢山のご愛顧をいただき、創設以来順調に成長していますが、品揃えの充実と集客、直売所運営の仕組みなどの課題もあります。露地野菜の旬など、陳列棚が賑やかな時期は通路をまっすぐに歩けないほどですが、季節の変わり目など若干寂しい時期もあります。また、顧客層の拡大も必要不可欠ですし、営業日を増やして欲



しいとのご意見も多数頂いております。そして、問題点の更なる炙り出しの為にお客様にアンケートにご協力いただき、それに対する改善を行っています。手前味噌ではありますが、改善点に対して直ぐに行動できることは組合員の団結力有ってこそだと思います。これからも地元とともに歩み続ける直売所でありたいよう、組合員一同笑顔で頑張っています。

(記 富 樫 潤)



住 所 村上市藤沢155-1  
 問合せ 直売所 担当：室本  
 電話 090-2733-6692

## 猿の対策

農業委員

齋藤 泰

「おーいスイカがいっぱいになったぞ」「トーモロコシがとれたぞ」「カボチャいらんかい！」など収穫の喜びの声があっちこっちから聞こえて来ます。

これも電気柵のお陰と感謝の声を耳にします。4、5年前では考えられない状況です。

朝飯、昼飯もゆっくり食べていられない猿追い合戦の日々にノイローゼ寸前のかあちゃん方の毎日

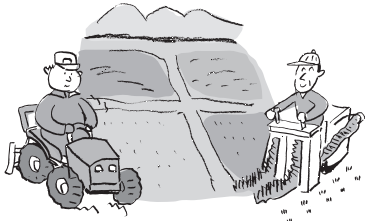
でした。集落ぐるみでなんとかしなければだめだと猿対策会議を開き一晩中猿談義で暮れたがこれという名案は出ません。

仕舞には集落ぐるみで3、4年畑を全部休んだほうがいいのではないかなどのおきらめの意見まで出る始末。耕作放棄寸前の状態でした。

そんな時の4年前、電気柵が絶対的な効果がある事を知り、近隣集落も含めて、市の担当者にお願しいし説明会を行いました。その結果、翌年に9名の賛同者の元、3ヶ所の設置が認められました。その年の効果を見て次の年も3ヶ所の希望者があり、認可され、現在当集落では6ヶ所に設置されております。その結果、猿の被害で全滅状態であった畑も今では電気柵内では猿の好む作物を優々と作る事が出来るようになりました。地域で一番猿が多いといわれた不名誉だった当集落にはたまに顔を出すがあきらめてさっさと去って行くように思います。

設置の当事者達からは「電気柵はいいものだなあー」などの声が聞こえほつとしております。

# 農業委員会の役割



## 1 農地の有効利用

### 農地を守り、活かすための取り組み

- 農地の権利移動や転用に関する審査を行っています。
- 農地パトロール（農地の利用状況調査）の実施や遊休農地所有者等への意向確認と新たな農地の受け皿としての農地中間管理機構の活用推進、遊休農地の発生防止・解消対策、無断転用の防止のための監視活動を行っています。
- 農地台帳と地図情報を整備、電子化し、農地の有効利用に役立てています。

## 2 担い手の育成

### 自立する農業経営者の支援の取り組み

- 複式農業簿記、青色申告、家族経営協定、農業経営の法人化など、経営の確立に向けた支援を行うとともに経営者の組織運動を推進しています。
- 新規就農や農業法人への就職相談のほか、企業等の農業参入支援など、新たな農業の担い手確保対策を推進しています。
- 農業者の老後生活の安定のための農業者年金への加入を推進しています。

## 3 行政機関等への提案活動

### 農業者や地域の声をくみ上げ、実現する取り組み

- 認定農業者をはじめとする地域の農業者との意見交換会を通じて、農業・農村現場の意向をくみ上げ、農政に反映させるための意見の公表や建議等を行っています。
- 農業・農村の実態を的確に把握するため、農地や農業経営に関する調査活動を行っています。

## 4 地域に根ざした活動

### 食と農の国民理解、地産地消の取り組み

- 人・農地プランの話し合いを推進し、地域農業のビジョンづくりに農業者の創意と工夫を盛り込むなど、農業振興や地域活性化に向けた様々な活動を行っています。
- 耕作放棄地を活用した市民参加のイベント開催、学校給食への地場産産物の活用等の地産地消への取り組み、学童農園等での指導など食農教育に取り組んでいます。

## 5 農業に関する情報提供

### 農業者の経営と暮らしを応援する情報提供の取り組み

- 全国農業新聞、全国農業図書、農業委員会だよりなどを通じて、農業者の経営と暮らしを応援する的確な情報を提供しています。
- 農業者や住民の声を行政機関に届け、農業者の意見の農政への反映に取り組んでいます。

## 老後の備えに農業者年金

### 農業者年金の特徴・メリット

- ・ 農業者の方なら広く加入できる
  - ・ 積立方式（確定拠出型）で少子高齢時代に強い
  - ・ 保険料の額は自由（月額2万円～6万7千円）に決められる
  - ・ 終身年金で、80歳前になくなられた場合でも80歳までの保証付き
  - ・ 税制上の優遇措置がある
  - ・ 一定の要件を満たせば保険料の国庫補助が受けられる
- 詳しくは最寄りのJA・農業委員会へお問い合わせください。

## ■ 全国農業新聞 ■

農業者の視点でお届けします

毎週金曜日 月4回  
発行 ▶ 1ヶ月700円  
(税・送料込)

今なら1ヶ月間お試し購読も可能

～お申込は農業委員会事務局まで～

## 農業委員会の活動

### 農業委員会活動報告

平成26年9月～平成27年8月

- 毎月月末 定例総会
- \*年6回 農政振興部会
- \*年3回 農地調整部会
- \*年5回 広報委員会
- 9月 12・16日 作況調査
- 10月 10日 建議・活動要望
- 11月 4日 県農業委員会大会
- 12月 12日 視察研修
- 14～20日 農地パトロール
- 26日 農業者年金加入推進会議
- 2・3日 県女性農業委員研修会
- 11日 全国農業委員会会長代表者会議
- 16日 1月 1日 選挙人名簿審査会
- 28日 農政懇談会
- 2月 9日 市町村農業委員会幹部研修会
- 19日 農業・農村地域振興策検討会
- 23日 下地域農業委員会会長会議
- 28日 3月 28日 JA岩船米生産者集会
- 4月 8日 全国情報会議
- 5月 12日 市地産地消推進協議会
- 20日 岩船農業振興協議会
- 28・29日 全国農業委員会会長大会
- 6月 18日 「JA岩船米」 求評懇談会
- 23・24日 先進地視察
- 7月 14～23日 農地パトロール
- 30日 農作業等労働賃金標準額検討会
- 8月 10日 地域別農業委員研修会
- 24日 農作業等労働賃金標準額検討会

# 若き担い手の

## 紹介



牧目 増田 嘉宏 (30)

今回紹介する増田さんは、父の経営する株式会社「あおぞら農産」の株主構成員であり、主に稲作と野菜等を栽培しています。現在はイチゴを担当しています。

農業を始めたきっかけを聞いたところ、「小さい頃から家は農家で、小学生の時によく手伝っているうちに親をみていて、俺も農業をやろう」と思ったそうです。それから農業系の学校を経て、今に至りました。今でも分らないことだらけで、「日々、勉強です。」と研究熱心な一面も話してくれました。



担当はイチゴ栽培で、農業試験場で1年間研修した技術を生かし、「観光いちご園」を昨年開園することが出来ました。そこでお客さんとの会話や喜ぶ顔が良かったと語ってくれました。

最後に農業をやっている一番うれしかったことを聞くと、「うちで作った作物を指名して注文を受けた時かな、自信と励みになります。」と笑顔で熱く語ってくれました。

# 「緑白綬有功章」受章



農業委員 板垣 栄一

平成27年3月、秋篠宮文仁親王殿下御名による大日本農会「緑白綬有功章」の栄を賜りました。

この受章は、地域のリーダーとして農業及び農村の振興・発展に関し特に功績がある方が選ばれる表彰で、農業関係者の方には、非常に栄誉ある受章であります。



# あとながき

10月に入り稲刈りも一段落のこの時期、新聞にはT・P・P大筋合意、ノーベル賞連日の快挙と大見出しで賑わっている。特に農業に關係するT・P・P大筋合意について聖域と位置づけた、「米、牛肉豚肉」などの農産物重要5項目の関稅撤廢は免れたとはいえ、米の無関稅輸入枠を7万数千トンに広げる、牛肉の関稅を大幅に引下げるなど中身は決してもろ手を挙げて喜べる内容とは思えない。農家にとつて厳しい経営が予想されるのではないか、不安を感じずにはられない。お盆前の連日の猛暑から豊作が期待されたが台風15号の被害、早い秋の到来など稲作の結果はいかだったのか！  
早い農家では来年に向け秋耕も始まり来季に向けて意欲も伺える。

広報委員長

- 広報委員長 齋藤 泰
- 広報副委員長 中山 和衛
- 広報委員 渡邊 修平
- 広報委員 齋藤 茂芳
- 広報委員 阿部 正一